

中中通信

平成30年 1月22日
学校だより 1月号
発行 伊豆市立中伊豆中学校
電話 0558-83-0032
担当 久保田正基

ちはやぶる

1月9日に毎年恒例の百人一首大会が行われました。各学級百人一首が得意な人の順に順番をつけて、1年生から3年生まで、6クラス混合のグループに分かれ、散らし形式で競技を行います。「おくやまに・・・」「ももしきや・・・」など、上の句が読まれるとどんどん取られていきます。下の句を聞いてから取るのでは、間に合いません。私は第17グループに飛び込みで参加させてもらいましたが4枚しか取ることができませんでした。生徒は、日本の伝統文化に触れ、競技を楽しんでいました。



↑(右:最多獲得 1-1 工藤花寧さん50枚 左:1位G優勝 1-1 杉本友菜さん)

授業拝見

1年2組音楽 荒川先生

今回の授業拝見は、音楽の授業です。授業者は、2年1組担任荒川利津子先生です。今回の教材は「お琴」です。「お琴でアンサンブル合奏をしよう」という授業です。各班に1面ずつ、順番に演奏していきます。演奏する前にまず調律。どの生徒も順番にお琴に触れていきます。演奏曲目は「さくらさくら」。演奏する順を待っている生徒は階名を唱えたり、弦を指さしたりしています。「さくら～♪ さくら～♪」だと「七七八～♪ 七七八～♪」とよ様な具合になります。演奏が上手になると、「前弾き（歌う前の楽器だけの部分）」や「後弾き（歌う部分の終わった後の楽器だけの部分）」を入れていきます。お琴は弦をはじくだけでなく、弦を押して音色を変える奏法もあり、生徒たちはお琴の技法を身につけようと真剣な眼差しで授業に取り組んでいました。



立志式

1月17日(水)に立志式を行いました。「一人ひとりが、自分の将来に夢や希望を抱き、志を立て、目的意識をもった生き方を考える機会とする。」を目的として行った行事です。

安政の時代(江戸時代)に、武士であり蘭学者であった橋本左内は、15歳の時に「啓発録」という5ヶ条の覚え書きを残しています。その中に「立志」という1ヶ条があります。左内はこの中で「志を立てよ。人生の目標を立てよ。」と自分に言い聞かせています。

また、「啓発録」の中で

- 稚心を去れ(甘え心やわがままから抜け出せ)
- やる気を起こせ(怠け心を吹き飛ばせ)
- 勉学に努めよ(学問だけでなく、正しい生き方を学べ)
- よき友を選べ(互いに励まし合い、いざめ合う友を選べ)

というものがあります。

この決意を固めた橋本左内に習い、立志式では、書き初めにした自分の決意を一人ひとり立派な態度で決意表明がなされました。今年は記念講演に伊豆市長菊地豊様をお招きし、これからの時代、今自分は何をすべきかを考えるきっかけになったことと思います。また、最後に全員による記念合唱が行われ、美しいハーモニーとともに、立志式らしい希望にあふれた歌声になりました。



1月19日(金)に鈴木光代先生(琴・生田流)をお招きし、1年生がプロの琴の生演奏を聴くことができました。

和楽器の本物に触れる機会はないありません。テレビやインターネットで聴くことができるとはいえ、実際に直接、琴の音色に耳を傾けることができたのは幸運でした。今回は、「世界に1つだけの花」「ロンドンの夜の雨」「未来へ」の三曲を演奏していただきました。生徒たちは、ゆったりとした時間が流れているのを感じながら、演奏を聴くことができました。



~お知らせ~

今年もインフルエンザが流行しています。今のところ本校では、罹患者が数名出ている程度に留まっており、大きな感染拡大には至っていません。生徒にはマスク着用や給食前の手洗いなど、予防指導をしています。ご家庭におかれましても、人混みのあるところへの外出をなるべく避け、子どもさんの健康状態の把握に努めていただき、体調不良を訴えたら無理をさせずに病院で受診をするようにご協力をお願い致します。